

大会日程 第1日 11月13日(土) 10:00~20:30

◆プレセッション 10:00~12:00 ◆会場：第一会議室

司会：澤田篤子

傅暮蓉「現代に伝わる古刹の風—高旻寺見聞」

楊秋悦「仏教における琴僧」

遠藤徹「高野山東京別院伝来の古絵図と高野山の法会」

◆公開講演会「日中仏教音楽の諸相」 ◆会場：芸術館・学芸の森ホール

司会：遠藤 徹

12:15	受 付 (芸術館ロビー)
13:00	開会の辞 (副会長 澤田篤子)
13:10	公開講演1「わが国における仏教摂取の一断面」 講演：佐藤道子氏 (東京文化財研究所名誉研究員)
	公開講演2「歴史ある北京智化寺京音楽」 講演：袁静芳氏 (北京中央音楽学院)
15:00	休 憩 (10分)
15:10 ↓ 16:40	公 演「日蓮宗の声明と法要式」 出演：日蓮宗声明師会連合会 解説：早水日秀氏 (本山妙本寺貫首)

後援：小金井市、国分寺市教育委員会

◆田邊尚雄賞授賞式、通常総会、懇親会

16:50	第27回田邊尚雄賞授賞式 [受賞者・受賞対象] Hugh de Ferranti "The Last Biwa Singer: A Blind Musician in History, Imagination and Performance" (2009, New York, Cornell University.) 塚原康子『明治国家と雅楽—伝統の近代化／国楽の創成』(有志舎2009年12月発行)
	17:10 ↓ 18:20
	第41回通常総会

※通常総会終了後、懇親会場へ移動

18:30 ↓ 20:30	懇親会・田邊尚雄賞受賞祝賀会／会場：第二むさしのホール
---------------------	-----------------------------

第2日 11月14日(日) 9:00~16:30

※受付開始 8:30~ 受付場所: 芸術・スポーツ科学系研究棟2号館2階廊下

◆研究発表◆ ※A会場は西講義棟(W棟)になります。

【午前】

研究発表1		
	A会場 (W110) 司会: 谷正人	B会場 (第一会議室) 司会: 高松晃子
9:00	森真理子 クレズマー音楽における「旋法」とモータル・ハーモニー	小日向英俊 1980年代以降の南アジア音楽受容史—「私心」による交流とその未来
9:30	飯野りさ アラブ音楽における旋法の名称: 感性による分類の体系	内堀明子 わらべうたの歌詞における多元的特徴をめぐって—中国チベット自治区と新疆ウイグル自治区との事例比較から—
10:00	丸山洋司 十七世紀のミティラー地方の宮廷歌謡の音階構造—『ラーガタランギー』に基づく考察	藺田郁 娯楽としての佐渡の文弥人形芝居を考察する—佐渡の人々の芸能への関わり方を通じて

10:30~10:40 休 憩

研究発表2		
	A会場 (W110) 司会: 谷口文和	B会場 (第一会議室) 司会: 早稲田みな子
10:40	野澤豊一 パフォーマンスからミュージッキングへ—米国黒人教会における歌唱、ダンス、トランスの混合的实践から—	栗山新也 沖縄移民一世の戦前の芸能実践にみられる競争するという発想
11:10	マット・ギラン 琉球古典音楽の「姿」—演奏の身体化と門下会意識	遠藤美奈 戦前のハワイにおける「琉球盆踊」考
11:40	毛丫 日本邦楽器の演奏における身体表現—箏曲を中心に—	松本奈穂子 グルジア系トルコ国民の音楽活動と、アイデンティティの多面性・流動性

12:10~13:10 昼 食

【午後】

研究発表 3			
	A会場 (W110) 司会：竹内有一	B会場 (第一会議室) 司会：三島暁子	C会場 (音楽教育講義室 2) 司会：権藤敦子
13:10	柴田真希 黒川能上座における謡本の所蔵状況とその変遷	比嘉舞 『體源鈔』に見える「姿」「心」論 —巻十一における歌論書引用部分を中心として—	金志善 植民地朝鮮における唱歌担当教員から見た唱歌教育の実態—1920年代後半から1940年代の前半まで—
13:40	黒川真理恵 宮園節正本にみられる阿波屋—統の出版活動について	田中有紀 清代儒学における楽の働き—凌廷堪の学術観と燕楽研究	新堀欽乃 近代日本における「仏教音楽」の成立と声明研究
14:10	前原恵美 芝居の演奏家と吉原の男芸者の兼業 —三代目常磐津造酒太夫を中心に—	平間充子 平安初期における奉獻儀礼の奏楽と近衛府 —一場の論理から奏楽の脈絡を読む	中村真由子 大正期の宮内省改革にみる楽部 —大正11～13年の欧州への留学生派遣をめぐって
14:40	太田暁子、近藤静乃 ケンブリッジ大学所蔵の菊亭家旧蔵雅楽関係資料に関する調査研究	植村幸生 東京芸大図書館蔵「中枢府重修宴契会図」にみる十六世紀朝鮮の宴礼楽舞	塚原康子、平高典子 海軍軍楽師・吉本光蔵のベルリン留学日記

15:10～15:20 休憩

研究発表 4		
	A会場 (W110) 司会：薦田治子	B会場 (第一会議室) 司会：牧野英一郎
15:20	加納マリ 初期の胡弓について —17世紀の文字資料と図像資料から	田村治美 超音波の生理的・心理的影響と音楽文化への関与性について
15:50	いしみのぞむ 崑曲勾孔笛の音階のはたらきを論ず	笠井津加佐 文楽受容者研究における「文楽スコア」作成の意義 —『曾根崎心中』を事例に—
16:30	閉会の辞 (大会実行委員長 加藤富美子) (W110)	

◆映像発表◆

第2日 11月14日（日） 9：00～16：20

※ループで上映。日程の詳細は当日掲示致します。

◆会場：映像の部屋（音楽教育講義室1）

福岡まどか「ジェンダーを越える踊り手

：インドネシアの女形舞踊家ディディ・ニニ・トウオの上演」

小日向英俊「北インド声楽様式ドゥルパドの技法」

岡田恵美「コルカタのハルモニウム産業にみる都市性」